

# 景況

レポート  
2025年10月12月期調査

## 景気動向の概況

業況DIは  
前期比7.5ポイントプラス

2025年10月から12月にかけての国内経済は、円安基調のもとで輸出関連を中心に持ち直しの動きが見られました。一方で物価上昇や人手不足の影響はなお続いており、景況の改善は限定的です。10月には高市政権が発足し、新たな経済政策への期待が高まるなか、中小企業の経営環境も転換期を迎えています。

今期の全業種業況DIは▲5.5で、前期比7.5ポイントの改善となり、全体としては「やや改善」となりました。業種別では、製造業は依然としてマイナス圏内ではあるものの改善がみられ、卸売業もようやく「やや改善」に転じました。小売業は改善、サービス業はやや改善となり、悪化した業種はありませんでした。今回の調査では、前回から持ち直しの動きがみられるものの、DI値は建設業を除き依然としてマイナスにとどまっています。今後も、政策動向やコスト要因の推移を注視していく必要があります。

調査要領

	依頼先数	回答数	回答率
合計	1560社	379社	24.3%
製造業	351社	112社	31.9%
建設業	284社	79社	27.8%
卸売業	282社	62社	22.0%

	依頼先数	回答数	回答率
小売業	244社	44社	18.0%
不動産業	117社	26社	22.2%
サービス業	282社	56社	19.9%

調査時点／2025年11月18日～12月3日

調査依頼先／当庫取引先

調査方法／郵送調査

調査対象期間／[今期]2025年10月～12月  
[前期]2025年7月～9月  
[来期]2026年1月～3月

分析方法／「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。  
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

## 製造業

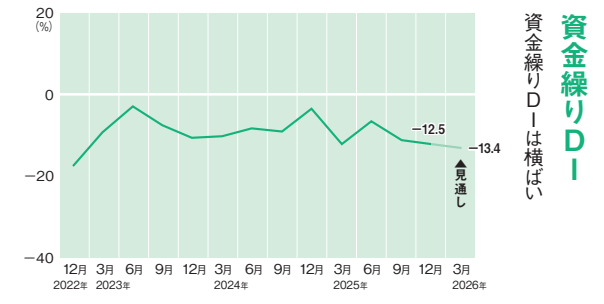
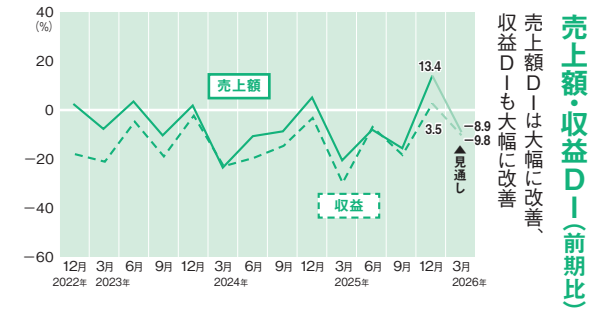
業況は改善、  
来期はほぼ横ばいの見通し

前期

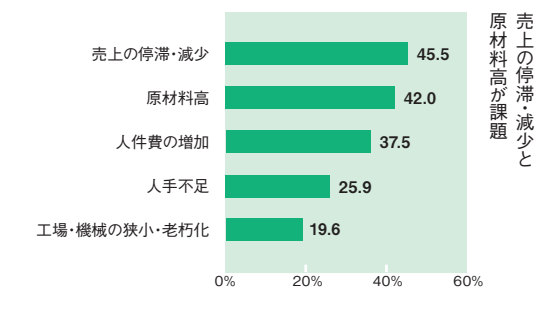
今期

見通し

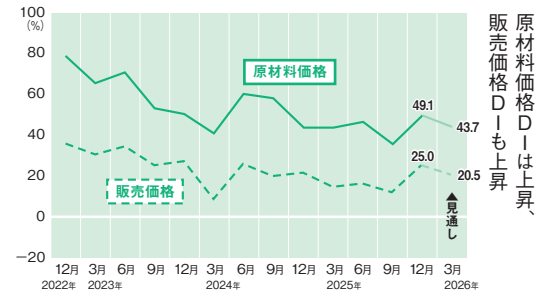
### 10年間の推移(業況DI)



### 経営上の問題点

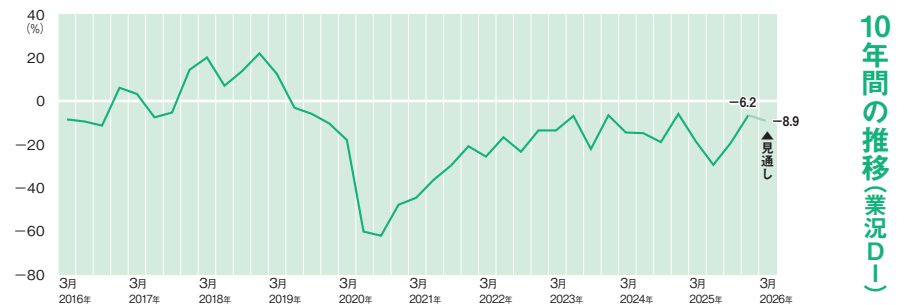


### 価格DI



お客様の声

- 最低賃金の毎年の引上げ幅が大きすぎる。中小企業の資金繰りも踏まえもう少し時間をかけて進めて欲しい。(尼崎市 製造業)
- 受取手形のサイトが長く資金繰りが改善しない。(真面市 ギフト品製造業)
- 同業他社のトラブルで今期は特別需要があった。来期も利益計上できる体制にしていきたい。(川西市 飲料製造業)



## 全業種総合DI

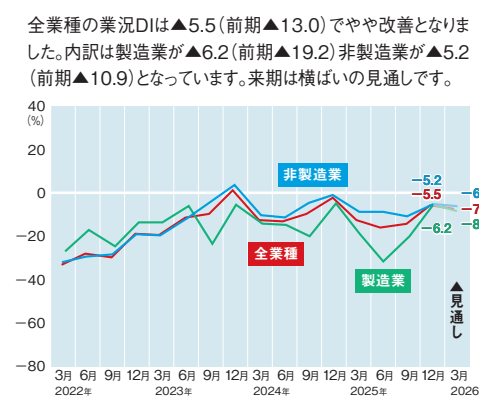
業況はやや改善、  
来期は横ばいの見通し

前期

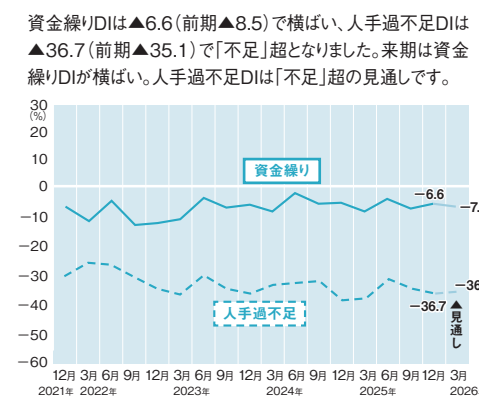
今期

見通し

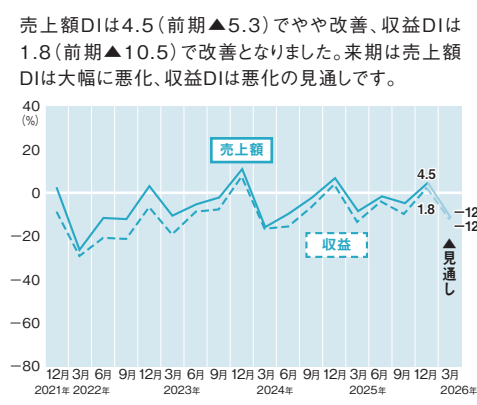
### 業況DIの推移



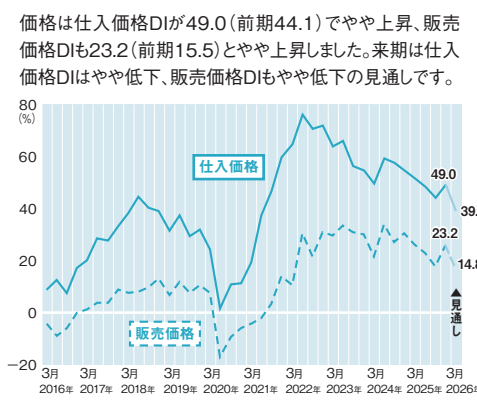
### 資金繰りDI・人手過不足DI



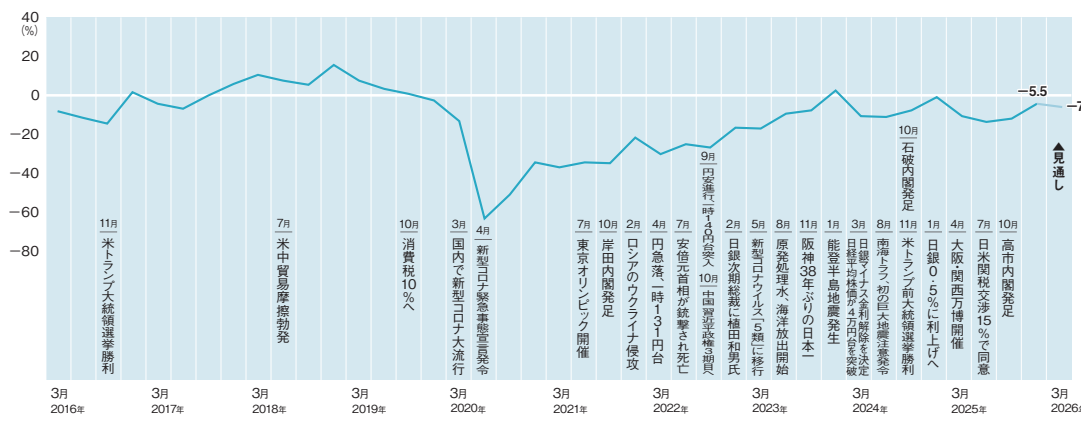
### 売上額DI・収益DI(前期比)



### 10年間の推移(価格DI)



### 10年間の推移(業況DI)



## 建設業

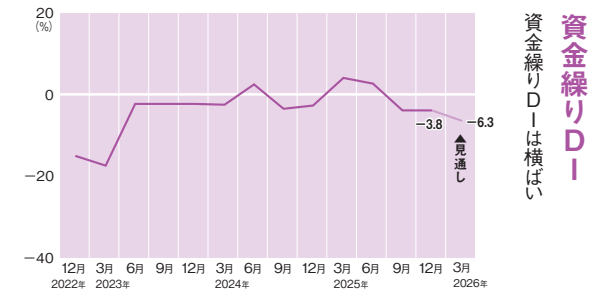
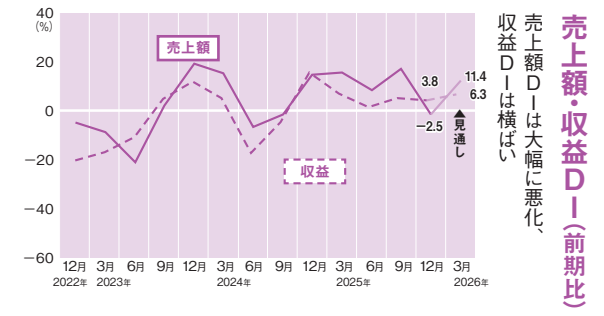
業況はほぼ横ばい、  
来期は横ばいの見通し

前期

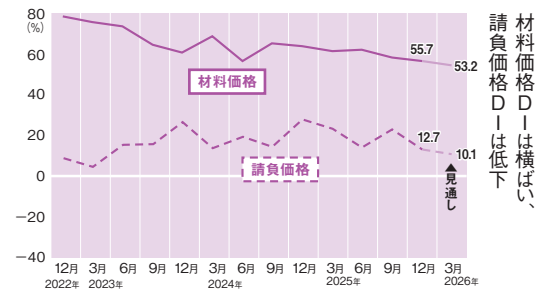
今期

見通し

### 10年間の推移(業況DI)

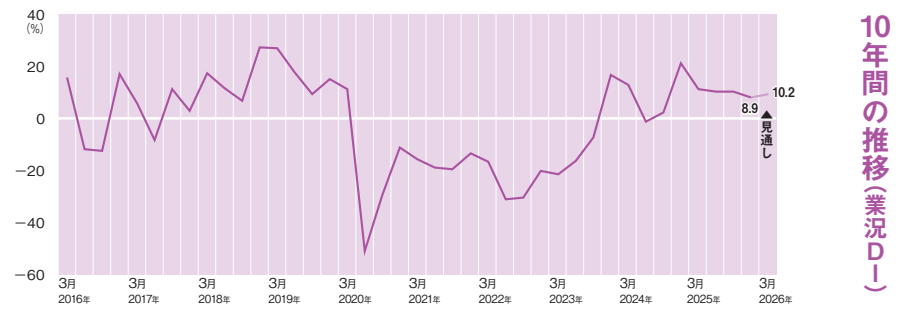


### 価格DI



お客様の声

- 材料費や人件費が高止まりしており下がる見込みがない。不動産も転売目的の値上がりがひどく、欲しい人が手に入りにくくなっているのは問題。(尼崎市 建設業)
- 神戸市の受注において市外の業者参入が多すぎる。また県の発注も少ない。(宝塚市 土木工事業)



前期  
今期  
見通し

